

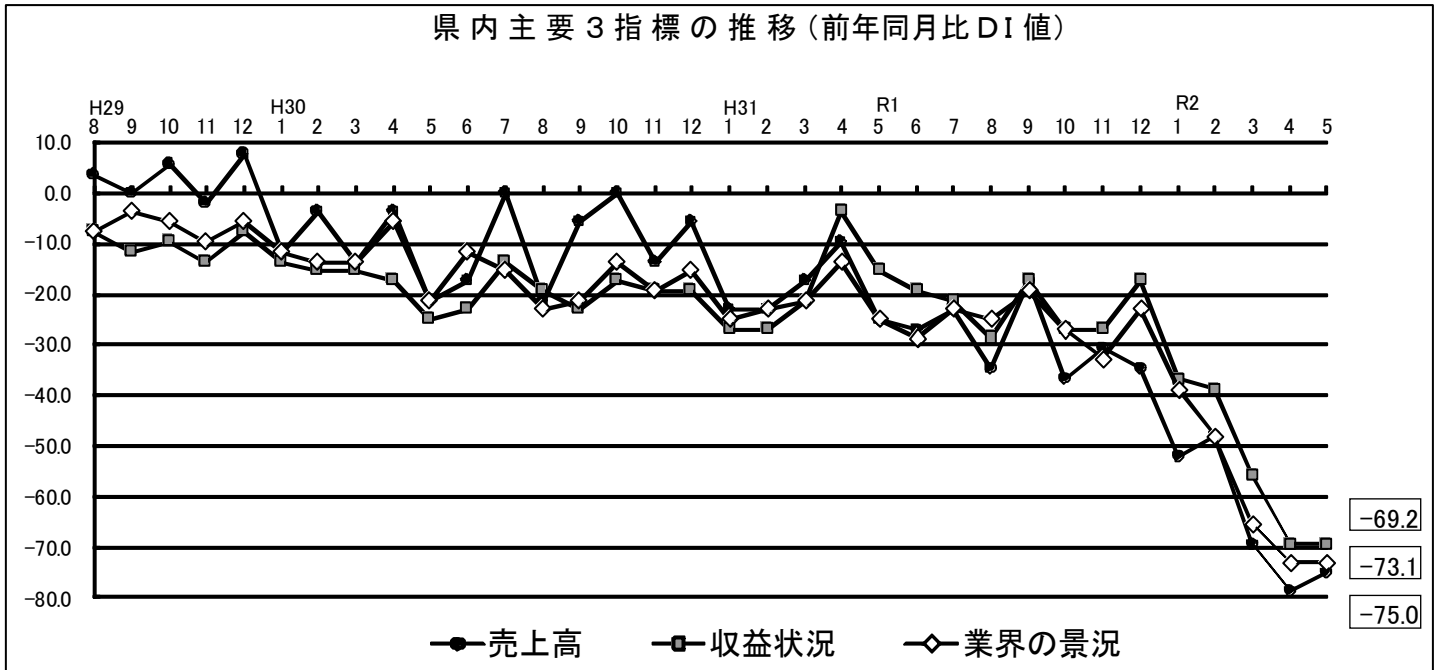
中小企業団体情報連絡員報告結果(令和2年5月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員52名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 主要3指標は、上昇又は同値となった。しかし、依然として厳しいマイナス状況が続いている。
- 前月比では多少の回復が見られるものの、全業種ともに深刻な状況に変わりはない。
- 徐々に経済活動が再開してきているが、今後の影響の長期化を懸念する声が聞かれる。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上高	-75.0	3.8	-73.5	-3.1
収益状況	-69.2	0.0	-70.5	-3.7
業界の景況	-73.1	0.0	-74.6	-1.7

売上高

当月の県内売上高DI値は、前月より3.8ポイント上昇し、-75.0ポイントとなった。全国においては、前月より3.1ポイント下降し、-73.5ポイントとなった。

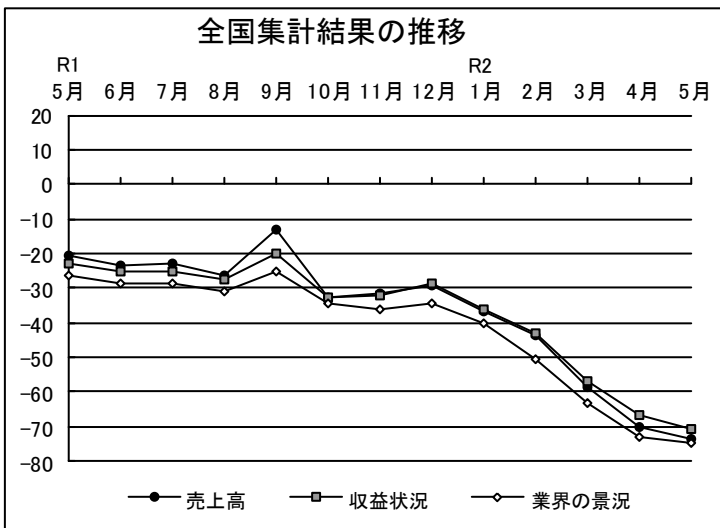
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月と変わらず、-69.2ポイントとなった。全国においては、前月より3.7ポイント下降し、-70.5ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月と変わらず、-73.1ポイントとなった。全国においては、前月より1.7ポイント下降し、-74.6ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概 況-

5月の前年同月比DI値は、9指標中2指標が上昇し、4指標が下降した。主要3指標は「売上高」が3.8ポイント上昇し-75.0ポイント、「収益状況」「業界の景況」は前月同値でそれぞれ-69.2ポイント、-73.1ポイントとなった。依然として、平成23年（大震災発生後）以来の厳しいマイナス状況が続いている。

業種別・指標別にみると、図表1のとおり、製造業では7業種中4業種、非製造業では6業種中1業種が「売上高」「収益状況」ともに-100.0ポイントとなり、前月よりは回復したものの深刻な状況のままである。特に主要3指標においては、すべての業種でマイナスとなっている。製造業では、大企業の休業や外出自粛による客足減少の影響により、収益状況が悪化した。非製造業でも、小売業や飲食関係など前年同月比50%を割り込む業種も多く見られる。

深刻化する新型コロナウイルスの影響により、売上低下や資金繰り悪化に対する不安はもとより、終息の目途が見えないことや長期化が予想されることを懸念する声が多く聞かれた。

5月に入り、経済活動を再開する動きも見られるほか、給付金や補助金等を有効活用している組合も見られるが、今後の企業体力の持続が危惧される。

図表1 【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-100.0	50.0	-25.0	-50.0	-100.0	-100.0	-50.0	-25.0	-75.0
繊維・同製品	-100.0	-25.0	-25.0	-25.0	-100.0	-75.0	-75.0	0.0	-100.0
木材・木製品	-75.0	25.0	-50.0	0.0	-75.0	-75.0	-75.0	-25.0	-75.0
印刷	-100.0	0.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	0.0	-100.0
窯業・土石	-50.0	0.0	25.0	-25.0	-25.0	-25.0	-50.0	-25.0	-25.0
鉄鋼・金属	-75.0	-75.0	0.0	0.0	-75.0	-50.0	-75.0	0.0	-75.0
一般機器	-100.0	-25.0	0.0	-25.0	-100.0	-75.0	-100.0	0.0	-100.0
製造業	-84.0	-8.0	-16.0	-24.0	-80.0	-68.0	-72.0	-12.0	-76.0
卸売業	-100.0	0.0	0.0	-33.3	-100.0	-33.3		-33.3	-100.0
小売業	-85.7	0.0	-14.3	-57.1	-57.1	-71.4		0.0	-71.4
サービス業	-66.7		-50.0	-50.0	-66.7	-50.0		-33.3	-83.3
建設業	-20.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	-75.0		0.0	0.0	-75.0	-75.0		0.0	-100.0
その他	-50.0		0.0	0.0	-50.0	0.0		0.0	-50.0
非製造業	-66.7	0.0	-14.8	-29.6	-59.3	-44.4		-11.1	-70.4
全体	-75.0	-5.7	-15.4	-26.9	-69.2	-55.8	-72.0	-11.5	-73.1

図表2 【指標別DI値の推移】

	元年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	前月 比
売上高	-25.0	-26.9	-23.1	-34.6	-17.3	-36.5	-30.8	-34.6	-51.9	-48.1	-69.2	-78.8	-75.0	3.8
在庫数量	-28.6	-20.0	-20.0	-14.3	-8.6	-20.0	-14.3	-8.6	-5.7	-14.3	-5.7	-22.9	-5.7	17.2
販売価格	3.8	0.0	5.8	0.0	3.8	3.8	3.8	3.8	-3.8	-3.8	-11.5	-7.7	-15.4	-7.7
取引条件	-3.8	-1.9	-5.8	-9.6	-9.6	-9.6	-11.5	-9.6	-11.5	-11.5	-15.4	-23.1	-26.9	-3.8
収益状況	-15.4	-19.2	-21.2	-28.8	-17.3	-26.9	-26.9	-17.3	-36.5	-38.5	-55.8	-69.2	-69.2	0.0
資金繰り	-5.8	-7.7	-11.5	-15.4	-11.5	-19.2	-13.5	-13.5	-19.2	-17.3	-38.5	-53.8	-55.8	-2.0
設備操業度	-4.0	-4.0	-4.0	-20.0	-20.0	-16.0	-8.0	-12.0	-24.0	-24.0	-28.0	-64.0	-72.0	-8.0
雇用人員	0.0	-3.8	-5.8	-3.8	-1.9	-3.8	-7.7	-5.8	-5.8	-1.9	-3.8	-11.5	-11.5	0.0
業界の景況	-25.0	-28.8	-23.1	-25.0	-19.2	-26.9	-32.7	-23.1	-38.5	-48.1	-65.4	-73.1	-73.1	0.0

特記事項

情報連絡員報告（令和2年5月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	新型コロナウイルスの影響で、今までにない厳しい状況である。営業を続けている店も大きく売上を下げしており、特に観光地である日光・那須・鬼怒川等で休業が続いている。観光施設の土産品などは、大幅な値下げや処分等になっている。
あん類製造業	コロナ禍の影響が大きく出ている。業界としてお土産のウエイトが重いので、観光地への客足減少がひびいている。
酒類製造業	新型コロナウイルス感染予防の為の自粛により、日を迫うごとに売上が低下しており、緊急事態宣言が解除されても、取り戻せない。今後の組合員各社の経営に不安が残ると共に、組合の運営にも波及する不安がある。
縫製業	受注がなくなり、5月より休業及び短縮操業をしている事業所が増加した。マスクの生産も下火になり、防護服も一部では稼働しているところもあるが、話だけが飛び交い、実際の生産には結びついていない状況である。
染色整理業	長引く低景気の中、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、自粛の徹底や商店の閉鎖、収入の減少による買い控えなどの発生と事態の長期化により厳しい現状にある。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	ゴールデンウィークが明けてから、取引先の動きは最小限に留まり、売上高が激減した。百貨店、量販店等お店を閉めているところが多く、業界内も諦めムードが漂っている。また上場アパレルメーカーの民事再生により、影響を受けた事業者もあった。
家具・建具製造業	新型コロナウイルスの影響により、前月と比較し更に業況が悪化している。現在は過去の受注により生産活動を行っているが、春先からの営業活動が停止しており、6～7月の売上は更に減少するものと思われる。当組合が工場・倉庫を賃貸している準組合員から、賃貸料の値下げ要請が複数寄せられている。
建具製造業	新型コロナウイルスの影響は、各組合員ともに甚大である。また今後どれだけ長期に亘り低迷が続くのかも予想できず困惑している。各組合員補助金等申請しているが、体力がどこまで持つか不安がある。
印刷業	新型コロナウイルスの感染が与える経済への影響は大きく、催事の中止による商業系印刷物の発注減はもとより、お客様の倒産・廃業等による売掛金の回収リスクにも注意を払う必要があるようだ。
石灰製造業	鉄鋼向けは相変わらず減産傾向であるため、出荷減少であった。肥料関係は、6月に一部年度切替のため、価格が変わる可能性があり、買い控えの傾向がある。建材関係は、新型コロナウイルスの影響で、徐々に回復傾向にあるが、まだまだ本格化していない。全体的には、新型コロナウイルスの影響及び鉄鋼向けの減少が大きく影響している。
陶磁器製造業	新型コロナウイルスの影響で、春の陶器市も中止になり、5月の売上も減少し、観光客もほとんどこなくなった。
金属製品製造業	新型コロナウイルスの影響による自動車メーカーからの受注状況は、各社毎に異なり変わらないところ、復活してきたところ、ストップしているところと様々である。家電関係は、冷蔵庫・エアコン関連の受注が低調である。
金属製品製造業	新型コロナウイルスによる売上低下、人件費増加や人手不足により、自動車部品関連・機械設備関連・プレス金型関連いずれも低下した。
一般機械器具製造業	新型コロナウイルスの影響で先行きが不透明である。休業を開始した組合員も出てきた。今後益々悪化すると思われる。
一般機械器具製造業	今月も売上高の減少により収益状況が悪化し、資金繰り状況に影響する企業が増えている。新型コロナウイルスの影響と思われるが、今後の日本経済への影響懸念が心配され、引き続き注意深く対応していきたい。
一般機械器具製造業	新型コロナウイルス感染症の影響により、取引先からの受注が減少した。週1日臨時休業日を設けて対応している。
各種商品卸売業	先月に続き新型コロナウイルスの影響により、売上減少や収益悪化とする企業が多くみられる。緊急事態宣言は解除となったが、組合員においては、今後「新しい生活様式」を実践するとしており、多くの企業が引き続きテレワークや交代制勤務を継続している。

食肉小売業	新型コロナウイルスの影響で、ホテル・レストランの需要は少ないが、家庭内食が増え、肉食の消費が増加している。アメリカの食肉工場が新型コロナウイルスの影響で稼働率が30%となり輸入価格が上がっている。売れないが仕入れ価格は上がっている状況である。
中古自動車小売業	新型コロナウイルスの影響が大きくなっている。来店者が少なく、中古車の輸出も大きく減少している。小売・卸売業ともに業績不振で資金繰りも悪化している。
各種商品小売業	前月に引き続き低調な5月期であった。物販店は前年同月比50%を割り込む店舗が多く、飲食店でも感染拡大防止協力のための休業により苦慮している。また、前年同月比80%ダウンと大きく割り込む店舗も多数ある。
各種商品小売業	緊急事態宣言解除後、少しずつ客足は戻ってきたが、4月同様に危機的状況は続いている。
花・植木小売業	期待の大きな「母の日」は、お客様、店舗スタッフ、花の物流など様々なことを考慮して今年に限り「母の月」とし、月末まで母の日関連商品を販売した。新型コロナウイルスの影響から売上が3カ月連続して前年比で大きく減少し、経営は厳しくなっている。この困難を組合員一丸となって乗り越えていきたい。
理容業	新型コロナウイルスの影響で、来客数が減少、収入減となり深刻な状況に陥っている組合員が増加しつつある。感染防止のために休業する店舗も多く、従業員を抱える組合員は、尚厳しい状況である。
自動車整備業	自粛要請の影響もあり、売上高は減少傾向にある。自動車整備においては、大きな影響は見られないが、車両販売、钣金修理に関しては、売上高が大きく減少している。
旅館・ホテル	新型コロナウイルス感染拡大により、宿泊は壊滅的な状態。宴会は100%ダウン。飲食店は70%ダウン。緊急事態宣言は解除されたが、県を越える移動は未だ自粛されているため宿泊は見通しが立たない。宴会は新しいスタイルを模索し始めるだけで1件もない。飲食店利用も栃木県はまだまだ自粛傾向が強く回復基調には入っていない。
ビルメンテナンス業	福祉用具レンタル事業の売上が増加している。ビルメンテナンス、廃棄物処理等は、前年並みの売上高を維持できている。
給食センター	売上高は、新型コロナウイルスの影響で今月も昨年度より大幅減少となった。雇用の確保、事業を継続するためのキャッシュフローは、県の制度融資でなんとかなっているが、終息せずこのまま続けば収益・資金も危うい。
一般土木建築工事業	コロナ禍の影響は、現状とりたてて出ていない。しかし今後、どのような形で影響が出るのかを非常に心配している。
内装工事業	新型コロナウイルスの影響により、一部の事業者においては現場が止まっている所もあるが、徐々に動き出しているように思われる。ただし、昨年と比較しても当方の業種における販売実績はかなり落ち込んでいる。
一般貨物自動車運送業	新型コロナウイルスの影響により、物量の減少が見られる。また、センターがストップし、便数や荷量が減らされたため、売上が減少した。その中で、衛生用品や備品の増設等出費も多かったため、かなり影響を受けている。
貨物軽自動車運送業	先月同様、食料品関係以外の配送は減少幅も大きくゴールデンウィークの影響もあり、物流は鈍く回復までには時間がかかりそうだ。組合員からは持続化給付金の問い合わせもあり、組合本部だけではなく、組合員各々の運営にもダメージが大きい。国の唱える「新しい生活様式」に伴い、新規のお客様から新たな提案を受けながら、営業活動を行っている。
一般乗用旅客自動車運送業	依然としてコロナ禍の影響が続いており、街中（JR駅周辺）も日中は閑散としている。持続化給付金等を申請し、2～3ヶ月はなんとかしていこうという状況である。
大谷石採石業	新型コロナウイルスの影響が当業界にも迫っている。今後の見通しが立たない。